

キクイタダキ（キクイタダキ科） 全長 10 センチ

全長わずか 10 センチの日本最小の鳥です。

小さな体でせわしなく動き回るので、撮影は簡単ではありません。数年に 1 度くらいしか遭遇しないので、いつかはじっくりと撮影できないかと待っていた処でした。

11月26日、市役所神岡支所から、玄関に弱って動けない小鳥がいる。どうもキクイタダキらしい、どう取り扱ったらいいかと電話が入った。直ぐに駆けつけると見つかった時は動かなかったが、生きていることは確かであった。やがて収容した箱から飛び出すと、景色が見えるサッシの窓枠に留まった。時間が経ち、元気が出てきたのでしょう。



保護され、やっと立ち上がったばかり。

支所の玄関は大きなガラスで、外の景色が映るのでそのまま飛び込んだと思われます。

10 数年前、平和中学校の玄関前でヤマセミが死んでいた時もありました。外敵に襲われ必死に逃げてきたと思われます。今回のキクイタダキも誰かに追われたのかは分かりませんが、ガラスにぶつかり脳震とうになり、一時的に気を失ったのでしょう。



きょとんとした目で見つめている。



頭頂の黄色い色を菊の花に見立て命名された。

時間が経つと徐々に元気になった様子が見られます。もう自然に返しても大丈夫だろうと判断。小学校からタモ網を借り、職員と共になんとか傷つけずに捕獲できました。外に出て網からそっと掬い上げると、あっという間に元気に飛び去って行ってしまった。飛び立つ瞬間を撮影しようと構えていたが、間に合いませんでした。



つぶらな瞳がなんとも可愛い。



網からそっと掬いあげると、あっという間に飛び出していく。